

香取市都市計画マスタープラン 地域別懇談会（第3回 佐原区） 議事録	
日 時	平成 21 年 11 月 29 日（日） 14 時 00 分～16 時 00 分
場 所	佐原中央公民館
参加人数	5 名
	◆都市計画マスタープラン地域別構想及び都市計画区域に関する質疑応答
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題の整理の方法を教えてください。</li> <li>・市街地では人口が減少している中で、この都市計画マスタープランが達成できるのか、率直な意見を伺いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香取市では、新市になって、行政の中で一番基本になる総合計画を策定しています。この計画は、まちづくりの他、教育や福祉など、行政としてやるべき仕事が全部、整理されています。この総合計画に即して都市計画マスタープランは作成します。この総合計画の策定にあたり、解決しなくてはならない課題が整理されています。都市計画マスタープランでは、この総合計画の課題、また、その他の計画や統計等の資料や現地調査を行い整理しています。それに加え、庁内の会議や懇談会のご意見を常に組み込みながら、作成を進めています。ただ、総合計画を受け、市や地域を対象とする都市計画マスタープランですので、生活や身の回りの事全てに対応したものではないという事をご理解願いたいと思います。</li> <li>・次に、実現性ですが、都市計画マスタープランは、都市計画の指針となるもので、具体的にどこをどういう手法でいつまでに、何を作るというような計画ではありません。こういう問題があるから取り組んでいかなければならない、直さなくてはならない、変えなくてはならないといった記述になります。また、出来ないものを方針としているのではなく、市民の皆さんとの協働等により、実現していくという事を前提にしています。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香取市では、人口が毎年減少し、若い年齢層が香取市から出ていっています。まずは、職がない、住む場所がない、そういう事をクリアした後に、このマスタープランをつくるべきと思うのですが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香取市の人口は現在約 83,000 人程度で、このまま何もしないで自然減、社会減が進むと約 68,000 人程度になると推計されます。近隣には、神栖市、鹿嶋市、成田市という国家資本による整備が行われ、住みやすさなど、さまざまな面でトップクラスの都市があります。そのような中で、人口の減少を抑制し、次の世代に香取市を渡していくにはどうしたらいいか、そういう危機感の基に概ね 10 年間で計画期間とする香取市総合計画を平成 20 年に策定しています。近隣の都市に依存するだけでは、</li> </ul>

	<p>香取市の自立性が無いので、香取市の持っている特性、地理的な条件等を踏まえ、交流人口の増加や地場産業である農業を基幹産業としていくなどを考えており、都市づくりについては総合計画を実現するためのまちづくりの指針として、この都市計画マスタープランを作成しているところです。今のご意見はわかりますが、全て経済的な自立性が出来てから、都市づくりを考えるのでは手遅れになります。そうならないようにしていくためにも、都市づくりの方向を示そうとしているわけです。皆さんで知恵を出し合い、香取市として、旧佐原として、地域を活性化させたいと思っておりますので是非お知恵をお借りしたいと思えます。</p>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ありがとうございます。私の町内は小野川に近いのですが、20年前にくらべて今は、世帯が減少し、また、独居老人世帯もいます。市の中心に近い地域でさえ世帯数が減少し、過疎化が進んでいる。市内全体が過疎にならないように、また、居住・交流の中心地に佐原市街地になるように、人口の流出が止められるようにして欲しいと思えます。定住人口が減少しては机上のプランで終わるのではと危惧しているのであり、若い人達が働けるような場所を行政として考えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合計画では3つの重点プロジェクトを設けています。まちの賑わいを取り戻すための「にぎわいのまち創造プロジェクト」、「協働のまちづくり」、少子高齢化による弊害をなくすための「子育てのまち創造プロジェクト」です。これを限られた予算の中ですが、効率的に進めていくことが、今の香取市の行政の大きな方針です。「にぎわいのまち創造プロジェクト」では、ご存知の通り、佐原の伝統的な文化と小野川周辺の環境を活かした観光地づくりを位置づけています。しかし、産業の柱として位置づけるにはそれだけでは弱いので、滞在型観光の振興や合併した小見川・山田・栗源と連携した香取市観光をつくりあげ、交流人口を増やして、産業が新たに芽生えるような方向を考えています。一昔前は企業誘致だけだったのですが、地道に地元の雇用の場、就業の場を増やしていくことも必要ではないかと思っております。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 佐原駅の南口周辺ですが、19時の電車の後は真っ暗な状態です。商店街の活性化についてどういう考え方をしているのか。</li> <li>• また、駅南口周辺は、一方通行が多く不便な状態です。道路網についてはどう考えているのか。</li> <li>• それから、小野川の観光ですが、川の水をもう少しどうにかならないか、もう少し綺麗な水にならないかという事を質問させていただきます。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 佐原駅南側の商店街ですが、以前から行政としては、駅利用者に商店街はサービスを提供するということでも、出来るだけ営業時間を延ばしてほしいと要請はしています。しかし、お客さんがいないから閉める、閉まっているのでお客が素通りするという悪循環となっています。これまでも活性化を図るため、いろいろ行ってきましたが、なかなかうまくいかないという状況です。現在、佐原駅駅舎の改築工事に着工し、次に駅前広場の整備を予定していますが、そういった中で商店街が活性化する</li> </ul>

	<p>よう、話し合いをしています。また、行政内で、大規模店舗跡地を含め、中心市街地の活性化について考え方を再整理しようという考えがあり、官民一体で進めるべきかと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一方通行の問題ですが、現在、都市計画道路の見直しをしています。ただ、一方通行を解消し、わかりやすいまちにすることは必要ですが、一方で小野川周辺はできるだけ車を排除して散策できるような環境にしようという考えもあります。この2点を考慮した案を検討しているところで、近々、皆さんにお話してご意見を頂きたいと考えています。</li> <li>• 小野川の水ですが、水質と見た目があります。水質については基準を全てクリアしています。見た目は、茶色く濁っていますが、これは上流に水田があることもあり、雨が降るたびに茶色になって当分そのままという状況です。これをきれいにする方法はないか、市民の皆さんと研究していますので、是非、それに入って、見た目をきれいに出来る方法はないか、取り組んでいただければと思います。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 目標年次が平成 39 年ということですが、中学生や小学生の子供達に、このマスタープランを説明するという考えはおありでしょうか。将来的に住んでいる町がどうなるということを今の段階から説明してもいいと思うのですが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務局でも話をしていたのですが、20 年先の姿を描く計画ですから、若い方に議論してもらうことが必要だと思っています。さらに、今の小中学生に、自分たちの育ったまちが、今後こういうふうになるというマスタープランについて説明する機会は必要ですし、地域を愛する気持ちを育むことにもなると思います。また、町並みの良さをわかってもらうには子供の時期から、その良さを普及させる、そういう取り組みが必要だと思っていますので、今のお話は検討したいと思っています。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本宿耕地の道の駅の状況を説明して頂けませんでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 名称は、佐原広域交流拠点「水の郷さわら」と言います。国土交通省が堤防をより強化するスーパー堤防を整備し、その上に千葉県が国道 365 号を直線にし、4 車線化して整備する。その整備により道路から川側に三日月型の土地ができるので、それを国と市で取得して、国土交通省が防災関係の水辺交流センターを作り、香取市で道の駅と水辺交流センターのレストラン部分等の一部の部分を整備するという事業です。3 月末には完了オープンという予定です。</li> <li>• また、国道 356 号の水田側ですが、ここは広域的な商業核として位置づけしており、大型店の誘致を考えています。ここは、平成 4 年頃から構想はあったのですが、当時は既存の商業を圧迫するような物は好ましくないという事で、農業公園的なものを検討したのですが、難しくて断念し、その後、商業系利用を検討してきました。平成 20 年頃に進出する企業も決まりかけたのですが、経済状況の悪化等で断念したという状況です。その後もいくつか話があるのですが、地盤整備にお金がかかることもあり、実現の可能性は低くなっている状況です。</li> </ul>

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の郷さわらの利根川のところですが、大雨が降ると閘門を中心に非常にゴミが溜まります。あの維持管理はどかがやるのですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理は国土交通省です。国土交通省の方も、防御ネットなど、何らかの対策を考えないといけないと検討していると聞いています。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐原駅が新しくなり、北口と南口から階段を利用して電車に乗ることになると聞きました。エレベーターもエスカレーターも付かないのですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐原駅の改築については、橋上駅にするか、今の平屋にするか議論がありました。橋上駅にすると南北の両方から、改札までの階段、改札からホームまでの階段ができます。ただし、バリアフリー化が必須になるので、エレベーター、エスカレーターの整備が必要になります。このため、膨大な総工費となります。そんなにお金を駅にかけられないということで、駅は平屋となっています。今の状態と同じです。ホームからホームへ渡るのは階段とエレベーターが整備されます。これはJRの義務で、予算がつけば、整備されると思います。新しい駅舎ができる時は新しいエレベーターも付くという事になると思います。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、家が都市計画道路にかかっているのですが、まだその計画はあるのですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在も残っています。今、長期未着手の都市計画道路の見直しを行います、という方針を説明したのですが、長期というのは指定から20年以上、事業に着手していない道路です。今、言われた道路は昭和44年に決定しているので該当する道路となります。現在、この路線も含め、見直しを検討していますが、駅南口の活性化、小野川周辺の観光の利便性など、さまざまな要素を加味しながら検討している状況です。</li> </ul>
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路の計画地内では建物が建てられないのですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築は可能ですが、建てられる建物の構造等の制限があります。都市計画道路の見直しについては検討を進め、まとまってきましたら皆さんにご説明したいと思います。</li> <li>その他どうでしょうか。それでは皆さんこの辺でよろしいでしょうか。では長時間に渡りまして貴重なご意見ありがとうございました。以上で閉会とさせていただきます。</li> </ul>

第3回地域別懇談会（佐原区）

H21. 11. 29(日)

